お茶大メールマガジン「お茶メール」創刊

総合情報処理センター長　山本　秀行

あの福岡ダイエーホークスが阪神タイガースを破って、日本シリーズを制した二〇〇三年十月二七日、わがお茶大にメールマガジン「お茶メール」が誕生しました。

発刊にさいしては、本田学長から、つぎのようなメッセージをいただきました。

「漸く電子情報の伝達網が張り巡らされ、日々の変化が素早く学内を駆け巡るようになりました。おくればせながらのお茶大新時代の訪れ…。

情報の共有によって、法人化という新事態に対処するための知恵と力が共有されることを期待しています。

（それにしても『オチャメール』とは、何とも『お茶目』な命名。こんなお茶目な情報が信頼に値するのかしら）と、ソッと独り言をつぶやいてみたりもします。

でも、多分、心配は無用。［…］きっとお茶目な装いのなかでも真実は正しく伝えられていくことでしょう。）」

編集局としては、学長の期待に応えないわけにはいきません。

いたずら好きな子どものように、学長室、教授会、附属校園、職員の世界を自由にとびまわり、情報が一方的なものになったり、味もそっけもないものにならないように、つとめたいと思います。

そこでさっそく、わがお茶メールに、「和子のひとりごと」というコラムをつくってしまいました。どんなひとりごとが掲載されるか、心配というか、楽しみでなりません。

いまのところ、本学の常勤教職員全員にむけた学内版が試行的に発行されています。慣れてきたら、在校生や卒業生にむけたものも発行したいと考えています。

生活科学部　生活環境学科の改組

人間文化研究科助教授　大瀧　雅寛

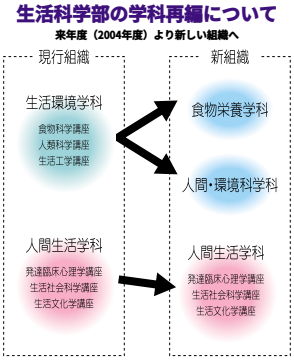
平成十六年度四月より、生活科学部生活環境学科が改組され、二つの学科（食物栄養学科および人間・環境科学科）が新設されます。生活環境学科は現在、生活工学講座、人類科学講座、食物科学講座から構成されていますが、今回の改組は社会の変化に合わせて、より合理的な教育体制を持たせることを目的とし、二学科体制に編制し直すものです（左図参照）。

食物栄養学科は、食物そして栄養について科学的概念と実践的知識を身につけた食物、栄養分野の日本のリーダーとなる専門家の育成をめざす学科です。現在、管理栄養士の養成コースを申請しています。

人間・環境科学科は、人間の身体と環境との相互作用について、人間と環境の両面から研究教育することを目的としており、よりよい生活環境を創造するために具体的な評価・設計・提案を行うための研究と教育を行う学科です。

人間生活学科では、平成十六年度以降も従来通り、こころや社会そして文化の問題を取り扱います。

以上の三学科体制によって健康ですこやかな生活の実践、人間と環境との共存、個の多様性を生かしつつ安全でかつ公平な社会を形成することなどに積極的に貢献できるリーダーの供給を目指しています。



年度末・年度始の学事予定（平成十六年二月～）

二月二五・二六日　学部入学試験前期日程
三月十二日　学部入学試験後期日程
三月十六日　附属幼稚園卒業式
三月十七日　附属中学校卒業式
三月十八日　附属小学校卒業式
三月十九日　附属高等学校卒業式
三月二三日　卒業式・修了式
四月　八日　附属小・中・高等学校入学式
四月　九日　大学入学式・附属幼稚園入園式

編集後記

先日、エジプトで開催された国際学会に参加して参りました。会議自体も有意義なものだったのですが、合間を見つけて見学した古代エジプト文明の遺跡には、私の人生観を変える様なインパクトがありました。今から六～七千年前に起こったエジプト文明はその後数千年にわたって栄華を極めます。数千年間継続していた文明もしくはその組織の中で生きていた人々は、きっとその世が永遠に続くであろうと思っていたのではないでしょうか。自分とは全く別の文明およびその価値観が世界に君臨するような世が来るとはよもや思いもしなかったでしょう。そう考えると、現在の価値観、評価基準というものがどれほど固定的なものなのか、ましてや時代の変化速度が昔とは比べものにならない現在においては普遍性とはあるのだろうかとの感をしみじみ深めた旅でした。

大学も昨今、社会からの要請の変化に合わせて様々な改革を求められています。今号にもお茶大における改革案に関連するいくつかの記事を掲載しました。私もそのような改革に身を投じている一人ですが、新しい組織を立ち上げるときの興奮とともに、世間の価値基準の激しい変化によって翻弄されるのでは無いかという虚無感に似た不安感も感じてしまうのが正直なところです。

古代エジプトの民にはこの社会はどの様に写ることでしょう。

（編集長　大瀧）

■本誌に関するご意見・ご要望・記事の掲載などは、企画広報室にお寄せください。

■お茶の水女子大学広報誌　Tea Times
平成16年1月16日発行
■編集発行／お茶の水女子大学広報委員会

■編集／大瀧　雅寛（編集長　人間文化研究科）
福島　昇（編集事務　企画広報室）
高橋苗々子（編集事務　企画広報室）

■問い合わせ先／お茶の水女子大学企画広報室　〒112-8610　東京都文京区大塚2-1-1
TEL03-5978-5105　FAX03-5978-5890
E-mail info@cc.ocha.ac.jp　URL http://www.ocha.ac.jp/

■印刷
㈱昭和堂